

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(21年2月分)

1. 調査実施期間 平成21年 1月20日 ~2月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

2月分の回答企業数は43社、回収率は89.6%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		21/2月	3月	4月
仕入動向	国産材	△ 33.8	△ 17.1	△ 10.6
	外材	△ 35.0	△ 26.3	△ 21.3
販売動向	国産材	△ 41.2	△ 26.5	△ 21.2
	外材	△ 40.0	△ 22.5	△ 17.9
在庫動向	国産材	△ 30.9	△ 18.2	△ 14.1
	外材	△ 28.8	△ 17.9	△ 22.4

仕入は国産材、外材ともに大きなマイナスで一段の弱さ。先行きへ期待も当面先が読めない状況。販売も国産材、外材とも実需少なく先安感から動き弱い。春先での上向き気配あるが厳しさ引き続く。在庫も同様大きなマイナスで、先行きでは多少縮めるが適正ならず。仕入、販売、在庫とも1月に引き続いて先行き3ヶ月の動向が全て大幅マイナスと特段の弱さ見込まれる。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	21/2月	3月	4月
スギ正角(グリーン)	△ 10.0	△ 10.0	△ 8.3
スギ正角(KD)	△ 11.5	△ 9.6	△ 8.0
ヒノキ正角	△ 9.6	△ 9.6	△ 6.0
ヒノキ土台角	△ 7.7	△ 5.8	△ 6.0
米ツガ正角(現地挽)	△ 27.1	△ 16.7	△ 6.3
米ツガ防腐土台角	△ 12.5	△ 4.2	△ 4.3
米ツガ割物(現地挽)	△ 22.9	△ 16.7	△ 10.9
米マツ平角	△ 26.1	△ 13.0	△ 13.6
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 18.0	△ 18.8	△ 13.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 48.0	△ 32.0	△ 16.7
レッドウッド集成平角	△ 37.5	△ 27.5	△ 10.0
型枠合板(国産)	△ 31.6	△ 2.6	2.6
型枠合板(輸入)	△ 27.3	△ 4.5	0.0
針葉樹合板	△ 19.0	△ 4.8	0.0

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台ともマイナスではほぼ横ばいと低調。

米ツガは各品目とも大きめのマイナスから回復気配はあるがやや弱含み。米マツ平角も回復模様だが弱い。

北洋アカマツタルキはやや大きなマイナス横ばいで、一時の勢い全くない。

集成管柱・平角一段大きなマイナスを一気に縮めるが、先安感拭えず一層の弱含み。

合板(針葉樹を含む)は大きなマイナスを一気の勢いでプラス・ゼロとし、春先には底値離れの模様。

1. 荷動き		コメント		
仕入 動向		米マツ一般材丸太では、米国材輸出価が全ソートで値上げ。カナダ材も値を上げたが、フレートの下落、為替等で相殺、トータルコストは安くなっている。(東京:米材問屋) やっと入港したものの絶対数が少なく、客先を満足させるものではない。(東京:米材問屋) カナダ材より米国材の価格が特に安くなっている(米マツKD材)。(東京:米材問屋) 近年にない悪い商況。先安感が強く買い気なし。(東京:米材問屋) 需給バランスはとれている。(東京:南洋材問屋) 仕入れ意欲なし。当用買いにて荷動き不振。(東京:米材問屋) 現地工場も受注少なく、納期が速い。(東京:南洋材問屋) 旧正月も明け、仕事の再開となったが日本向けの生産は少ない。日本向けの産地価格は元々が低いので下がる気配は少ない。(東京:南洋・中国材問屋) 中国材は旧正月があり、入荷は減少。(東京:南洋・中国材問屋) 良いものは買うようにしているが、良材が出てこない。(東京:国産材問屋) 需要不振を受け、仕入れ慎重。(東京:国産材問屋) 売上に正比例し、極端に減少。(東京:仲買小売)		
	販 売 動 向		京浜マーケット米マツ丸太市況では、メーカー在庫が減少しておらず、又、益々メーカーサイドからの値下げ圧力が強まっていることから、問屋の売り姿勢も弱い。(東京:米材問屋) 当用買いが続き。はかばかしくない。(東京:米材問屋) 今までで最悪。(東京:米材問屋) 円高差益の安値と以前の在庫との単価差があり、微妙なところである。(東京:南洋材問屋) 問屋の販売は好調だが、その先は止まっている状況。(東京:南洋材問屋) 相変わらず急ぎの注文が多い。円高為替で価格を抑えている状況。(東京:南洋・中国材問屋) 注文材の見積りは多いがB/L(船荷証券)の荷動きは悪い。(東京:南洋・中国材問屋) 細かい小口の別注品が多く、手間のかかる割に歩留まり悪く、単価も安い。(東京:国産材問屋) 現場動かず打つ手なし。(東京:国産材問屋) 細かく急ぎが多い。(東京:国産材問屋) 円高、フレートの値下がり輸入品は各メーカー値下げしているが、仕事量の激減で荷動きは非常に悪い。プレカット稼働率も1月に引き続き半減。(東海:米加・北欧材問屋) 売行き沈下。ヒノキ並材は弱含み。(東海:国産材問屋) 荷動き最悪。例年1-2月は悪いが、今年は特に悪く、怖ろしくなるほど。来月に木造の新築予定があるのが唯一の救い。(東京:仲買小売) 昨年に比べて客層の動きは感じるが、量的にはまだまだ少ない。種々の情勢から見て、これからの業界の流通のあり方が難しい。とにかく静観を続けるのみ。(東京:仲買小売) 9月中に完成させなければならない住宅の需要が少し出てきた。(東京:仲買小売) 1月末より急激に悪化。例年この時期は悪いが、今までに無い悪化。(東海:仲買小売)	
		在 庫 動 向		京浜地区へは12月、1月と連続して本船入荷があったことから、問屋の手持ち在庫は増加している。(東京:米材問屋) とにかく在庫を減らすため値が付いたら売っていく。(東京:米材問屋) 減少の一途である。(東京:米材問屋) 産地の日本向け生産意欲少なく、新規発注もすんなりとは生産してくれないので、入荷も更に減少。相変わらず無い物はどこを探しても無い。(東京:南洋・中国材問屋) 入荷、出荷ともに少なく在庫に変動なし。(東京:南洋・中国材問屋) 高値材早期販売対応のため、在庫減らしている。(東京:国産材問屋) ヒノキ特一が売れない。引き合いが乏しい。(東海:国産材問屋)
			2. 価格動向	
			スギ正角	先安感がある。集成材が値下げ。荷動きが感じられない中、市況の上下は二の次。(東京:問屋)
			ヒノキ正角 土台角	
			米ツガ	未曾有の建築着工の需要減少により、輸入構造材は総て価格下げに走る。(東京:仲買小売)
			米マツ平角	新築住宅着工激減のためか全く売れず。KD材の値下げが大きい。(東京:問屋)
			北洋アカマツ タルキ	あれほどの関心事であった関税問題を全く気にしなくなった。(東京:仲買小売)
			WW・RW 集成材	為替と売行き不振で棒下げ状態。底が見えない。(東京:問屋) 需要不振で価格下落が止まらず。(東京:問屋)
合板			メーカーの生産調整により価格を維持したいところだが、とにかく需要次第。(東京:仲買小売) 針葉樹合板の700円割れは買いだと思うが、何としても仕事が見えてこないで、在庫積み増しまでの意欲は出てこない。(東京:仲買小売)	